

うらおそい歴史新聞



第30号

『浦添グスク・ようどれ館』に
ぜひお越し下さい！

「浦添グスク・ようどれ館」は国指定史跡「浦添城跡」のガイドンス施設です。平成十七年に、浦添市の学習拠点として開館し、浦添グスクと浦添ようどれの発掘調査での出土品や、戦前のようどれの姿をパネルなどで展示しています。

特にみどころは、沖縄県指定文化財の「浦添ようどれの石厨子」を含めた浦添ようどれ西室（英祖王陵）内部を実物大で復元・展示しており、必見価値があります。館内の展示物の説明については、NPO法人うらおそい歴史ガイド友の会が担当しますので、お気軽にお声をおかけください。



【浦添ようどれの石厨子】（模型）

浦添ようどれの石厨子は、石の棺です。石は中国の輝緑岩で、仏像などの仏教彫刻が施されています。墓室内の現物は非公開ですが、精巧な模型をようどれ館で見ることができます。実物は沖縄県指定文化財（彫刻）に指定されています。

「うらそえ歴史ガイドツアー」の申し込みを随時受け付けています。

うらおそい歴史ガイド友の会では、「浦添グスク・ようどれ館」の中だけでなく、浦添ようどれや浦添グスク現地をご案内いたします（有料）。

お時間にあわせて「1時間程度で案内してほしい」、「たっぷり2時間使ってじっくり見たい」などご要望にお応えします。ガイドは、毎日グスクの巡回活動もおこなっていますので、名札をかけている人を見かけたら声をかけて下さい。スポット解説します。グスク以外にもコースがあります。お気軽にご相談下さい。



【うらそえ歴史ガイドツアー】

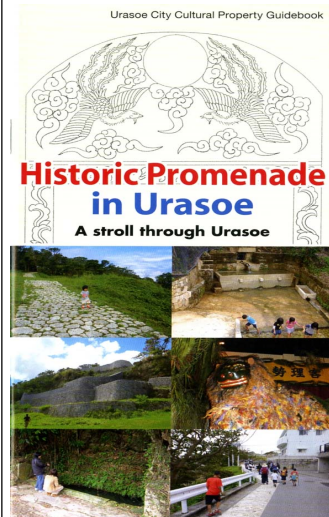
歴史ガイド1名あたり、1時間：1,500円、2時間：3,500円でご案内します（県外の方は半額助成あり）。ガイド1名で20名程度対応可能です。観光はもちろん、授業・研修などにも対応可能です。

文化財ガイドブック『ぶらり浦添』の英語版ができました！

浦添市の文化財を紹介するガイドブック『ぶらり浦添』の英語版をこのたび行しました。最近、浦添グスクをはじめとする浦添の史跡などに外国の方がいらつしやる機会も増えてきましたので、市教育委員会文化課では初の外国語版ガイドブックとして、『ぶらり浦添』英語版を発行しました。

今年、「世界のウチナーンチュ大会」が沖縄で開催されます。浦添市でも大会と関連して各種イベントを予定していますので、浦添にもたくさんの方が沖縄にいらつしやると思います。「親戚や友達が外国からくるから浦添を紹介したいけど、どう案内すればいいんだろう」と思われる方もいらつしやるかもしれません。そんな時にはぜひ、このガイドブックをご利用ください。

『ぶらり浦添』の内容を少しご紹介いたします。この冊子は、その名の通り「浦添をぶらぶら歩く」ために作成されたもの



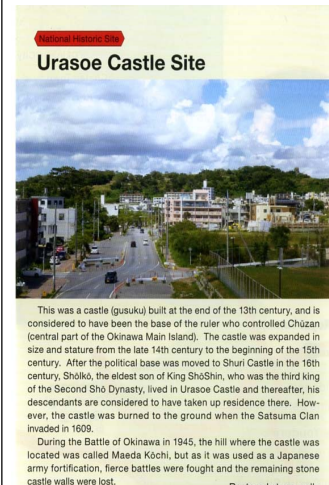
で、ポケットに入れて歩けるサイズで作成しています（A4・3つ折りより少し小さいサイズです）。

「浦添グスク」や王陵である「浦添ようどれ」の紹介はもちろん、市内に残る石畳の道「中頭方西海道」や、仲間の拝所群、経塚の碑、玉城朝薫の墓、牧港テラブのガマ等の歴史的な史跡スポットはすべて網羅しています。また、モデルコースとして、以下の3つのルートを紹介しています。

- 「王陵・浦添ようどれとグスクルート」
- 「尚寧王の道をたどる歴史の道ルート」
- 「城下まちを歩く仲間集落ルート」

それ以外にも市内の「おもろの碑」や浦添市美術館などの市内の文化施設も紹介しています。

配布は「浦添グスク・ようどれ館」（場所・連絡先は裏面）※数に限りあり。等で無料で行っていただけますので、ぜひ足をお運び下さい。もちろん日本語版もありますのでご利用ください。



Urasoe Castle Site

This was a castle (gusuku) built at the end of the 13th century, and is considered to have been the base of the ruler who controlled Chuzan (central part of the Okinawa Main Island). The castle was expanded in size and stature from the late 14th century to the beginning of the 15th century. After the political base was moved to Shuri Castle in the 16th century, Shōko, the eldest son of King ShōShin, who was the third king of the Second Shō Dynasty, lived in Urasoe Castle and thereafter, his descendants are considered to have taken up residence there. However, the castle was burned to the ground when the Satsuma Clan invaded in 1609.
During the Battle of Okinawa in 1945, the hill where the castle was located was called Maeda Kochi, but as it was used as a Japanese army fortification, fierce battles were fought and the remaining stone castle walls were lost.

Restored shrine walls

○浦添グスク・ようどれ館

国指定史跡「浦添城跡」のガイダンス施設です。浦添グスクと浦添ようどれの発掘調査での出土品や戦前の写真パネルなどを展示しています。

【開館時間】午前9時～午後5時
【入館料】

大人（高校生以上） 1000円
小人（小中学生） 500円

※市内小・中学生は無料
【休館日】

月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53-1

【電話】098-874-9345

【アクセス】

琉球バス交通 牧港線（55番）
仲間バス停から徒歩5分



【浦添グスク・ようどれ館】

浦添ようどれ墓室（西室）の原寸大の模型がみどころ。館内は、NPO法人うらおそい歴史ガイドが展示の解説も担当します。駐車場も完備しています（大型バスも対応可）。

○浦添大公園南エントランス展示コーナー

浦添グスクの南側入口にある県営公園の施設です。浦添グスクの模型のほか、グスクを紹介するパネルや出土品のレプリカを展示しています。入場無料ですので、お気軽にお訪ね下さい。

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】無料

【休館日】

月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53

【電話】098-876-3555

【アクセス】

琉球バス交通 56系統
浦添小学校前バス停から徒歩5分



【浦添大公園南エントランス展示コーナー】

施設の中には「うらおそい歴史ガイド」が解説員としておりますので、解説をご希望の方は気軽に声をかけてください。駐車場も完備しています（バス対応可）。

○浦添市歴史にふれる館

浦添の遺跡の出土品や民具を収蔵・展示している施設です。展示室では、縄文時代の土器から、戦前まで実際に使われていた道具などを展示しており、浦添の歴史を学習することができます。

【開館時間】午前9時30分～午後5時
（入館は16時30分まで）

【入館料】無料

【休館日】土日・祝祭日（慰霊の日）・年末年始

【住所】〒901-2134

沖縄県浦添市港川512-11

【電話】098-876-1234

内線（6216・6217）

文化課文化財係まで

【アクセス】

琉球バス交通 20系統他
第一牧港バス停から徒歩15分



【浦添市歴史にふれる館（やかた）】

平成28年2月にオープンした文化財の収蔵展示施設。収蔵室の一部も公開しています。駐車場も完備しています。

○うらおそい歴史ガイド ツアー 随時受付中です！

浦添グスクをはじめとした、市内の史跡や歴史スポットを有料でガイドします。

料金 1名当り（20名程度まで）
1時間 1,500円 / 2時間 3,500円

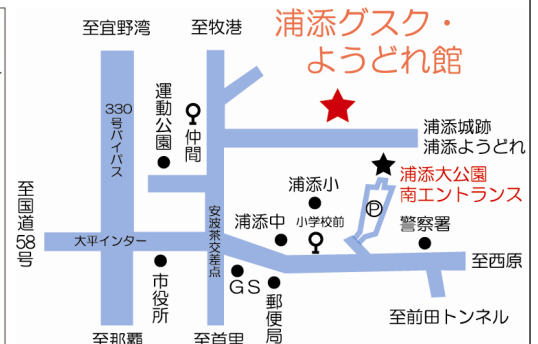
※県外の方は半額の助成があります

団体でのご利用や、コースや時間などは相談に応じます。お気軽にご相談下さい。

申込先 浦添グスク・ようどれ館
電話 098-874-9345



浦添市歴史にふれる館の地図



浦添グスク・ようどれ館と浦添大公園南エントランス展示コーナーの地図

※仲間バス停から徒歩5分